



西新潟中央病院

NST NEWS 第32号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2016年9月6日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線 1303

NST委員会からのお知らせ ～ロボットスーツ「HAL」を見学してきました～

先日9月3日の土曜日、関東信越国立病院管理栄養士協議会 新潟地区研修会が開催されました。本研修会は西新潟中央病院、新潟病院、さいがた医療センターの3施設で行う合同研修会で、今回は新潟病院でリハビリテーションに使用されているロボットスーツ「HAL」を見学してきましたので、報告させていただきます。

1. 新潟病院のリハビリテーション

新潟病院は内科、神経内科、小児科、外科、脳外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科の診療を行っており、当院と同様に神経疾患のリハビリテーションに非常に力を入れています。2014年に設立した新病棟は1階の大部分がリハビリテーションのスペースとなっており、最新の機器が多数導入されていました。



理学療法室(左)と作業療法室(右)非常に広くスペースがとられていましたが、まだまだ手狭で、患者さんで一杯になってしまうとのことでした。

2. ロボットスーツ「HAL」



HAL: Hybrid Assistive Limb

人間が四肢を動かそうとする際に発生する生体電位信号を読み取り、パワーユニットと人の力が一体化して運動制御が行われる。

写真左が下肢モデル、右が単関節モデルで、単関節モデルは実際に装着させていただきました。

HALの開発、製造を行っているのは茨城県つくば市にあるサイバーダイン社。映画「ターミネーター」にも同名の企業が出てきますが、偶然の一致だそうです。

3. その他の最新機器



バイオデックス&トレッドミル

身体を上から吊るすことができ、転倒の危険をゼロにすることができる。

「転ばない」という安心感があることで、リハビリに集中できるそうです。



テレプレゼンス・ロボット「Double」

タブレット端末に車輪が装着されており、自走が可能。ベッド上に寝たきりであっても、外に出て景色を見る事ができる。実際に患者さんが使用し、公園の桜を見に行ったりされているそうです。

(文責: 栄養管理室 澤田周矢)